

福井市生活交通改善計画（利用環境改善促進等事業）

平成24年7月20日

協議会名：福井市地域生活交通活性化会議

（代表者名）座長 川本 義海

1. 利用環境改善促進等事業の名称

バスロケーションシステム整備事業

2. 利用環境改善促進等事業の目的及び必要性

現在、福井市内で京福バス株式会社が運用中のバス接近表示機によるバスロケーションシステムは、市内64箇所のバス停留所においてバスの接近情報をランプの点灯（一部の停留所では音声案内も実施）により提供しているものである。

しかし、現行のシステムでは、停留所以外の場所にいる利用者に対しては情報提供を行うことができない他、提供できる情報もバスの接近情報のみであり、遅延等の多様な情報を提供することはできず、利用者にとって真に便利なサービスとはなっていないという現状にある。

また、現行のシステムは昭和62年に整備、サービスの提供を開始していることから、システム全体が老朽化しており、一旦故障が生じた場合には修繕に係る部品が調達できない可能性がある等、システム運営の継続性にも課題がある。

そこで、パソコンや携帯電話でバスの概略位置を検索できるようにする他、遅延や緊急時の情報等をリアルタイムで提供できるようなバスロケーションシステム事業を整備・導入することで、バスの利用利便性を向上させ、公共交通機関の利用促進につなげる。

3. 利用環境改善促進等事業の定量的な目標及び効果

（1）事業の目標

バスの運行状況に関する情報提供をリアルタイムで行うことで、バス遅延による不安感やイライラの解消を図る。

【数値目標】

- ・ バスの概略位置等を表示するホームページへのアクセス件数（パソコン及び携帯画面）
：1日あたり2,000件（平成23年度の京福バス路線バス年間輸送人員の約25%）

（2）事業の効果

バスロケーションシステムの導入により、バス離れの一因となっている、情報が無いことによる不安感やイライラが解消されることで、バスの利便性の向上が図られる。

また、バスの利便性が向上することでマイカーからバスへの転換が図られ、道路交通量が減少することにより、ひいては渋滞緩和及びバス運行の定時性の確保にも効果があると期待される。

4. 利用環境改善促進等事業の内容と当該事業を実施する事業者

(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者） 京福バス株式会社

(内容) パソコンや携帯電話で位置情報を検索できるバスロケーションシステムの導入：京福バス
バスロケーションシステム基地局・通信所設備の更新等

- ・ 基地局送受信設備、空中線系設備更新
- ・ 福井営業所中央制御装置設備更新
- ・ 坂井・大野営業所設備更新
- ・ 勝山、三国前進基地局設備更新

(2) 関連事項

(地方公共団体の各種計画との位置づけ、計画内容)

- ・ 平成21年2月に策定した福井市都市交通戦略において、目標を実現するための施策パッケージとして「電車・バスのICT化」を掲げ、携帯電話を活用したバスの位置情報の提供等、バスロケーションシステムの拡充を目指すこととしている。

(事業実施地域)

- ・ 福井市、坂井市、勝山市、大野市

※ 坂井市、勝山市、大野市に対しては当該バスロケーションシステム整備について説明し、各区域内における施設整備を含んでいることについて合意を得ている。

(他の交通事業者との連携状況) ※自社グループを除く

- ・ 特になし

(他の交通機関との連携状況)

- ・ 特になし

(公共交通以外の分野との連携状況) ※観光、道路、警察等。

- ・ 当該システムで収集するバス停留所やバスの位置情報をインターネット上で公開し、観光等、各分野で活用できるようにすることを検討している。

(事業を実施すべき緊急性)

- ・ バスの利用者は年々減少していることから、より気軽にバスの位置情報を知ることができるバスロケーションシステムを導入することにより、バスの利用利便性を向上させ、バス離れを食い止めることは喫緊の課題である。

■参考：京福バス路線バス（福井駅前発着路線）の年間利用者数

- ・ 平成16年度：3,979千人、平成20年度：3,096千人、平成23年度：2,896千人
⇒平成23年度の利用者数は平成16年度の約73%となっている。

5. 利用環境改善促進等事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

平成24年度（当該年度）

（1）事業計画の概要（目標）等

事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	バス協会 割合	市町村負担 割合	事業者負担 割合
福井市バスロケーションシステム整備事業	42,897千円	14,299千円	10,000千円	9,855千円	8,743千円
	100%	33.4%	23.3%	23.0%	20.3%
	千円	千円	千円	千円	千円
	%	%	%	%	%
合計	42,897千円	14,299千円	10,000千円	9,855千円	8,743千円
	100%	33.4%	23.3%	23.0%	20.3%

※総事業費については見込み額を記載

※列記の者以外に費用負担者がいる場合、適宜修正の上、全体構成がわかるように記載。

※市町村負担分については全額福井市が負担する。

6. 計画期間

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。

●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載

事業の名称	平成24年度				平成 年度				平成 年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
バスロケーションシステムの整備	交付決定以降 											

7. 協議会の開催状況と主な議論

・平成24年7月18日

坂井市、勝山市、大野市と当該バスロケーションシステム整備について書面協議にて合意を得る。

・平成24年7月20日

福井市地域生活交通活性化会議において、生活交通ネットワーク計画について協議を行い、関係者の合意を得る。

8. 利用者等の意見の反映

- ・福井市地域生活交通活性化会議において、利用者代表（福井市PTA联合会・福井市連合婦人会等）から意見を聴取した。

9. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	福井県 総合政策部 交通まちづくり課
関係市区町村	福井市 都市戦略部 地域交通課
交通事業者・交通施設管理者等	京福バス株式会社、福井鉄道株式会社、光タクシー有限公司、えちぜん鉄道株式会社、まちづくり福井株式会社、福井県警察交通部交通規制課
地方運輸局	中部運輸局福井運輸支局
その他協議会が必要と認める者	福井大学准教授、ふくい路面電車とまちづくりの会、福井市自治会連合会、福井市連合婦人会、福井市老人クラブ連合会、福井県高等学校PTA联合会、福井市PTA联合会、社団法人福井県バス協会、福井県交通運輸産業労働組合協議会

■注意事項

- ・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住所) 福井市大手3丁目10番1号

(所属) 福井市 都市戦略部 地域交通課

(氏名)

(電話) 0776-20-5138

(E-mail) koutu-s@city.fukui.lg.jp